

「デジタル簡易無線のデータ伝送における周波数の有効利用に資するための調査検討会」の第4回会合を開催

北陸総合通信局では、3月12日(金)に「デジタル簡易無線のデータ伝送における周波数の有効利用に資するための調査検討会（座長：丹 康雄 北陸先端科学技術大学院大学教授）」第4回会合（最終会合）を開催し、これまでの検討の結果を報告書にまとめたことから、会合終了後、丹座長から吉武北陸総合通信局長に報告書を提出しました。

本調査検討会では、平成20年8月にデジタル方式が制度化されたデジタル簡易無線について、エコタウンでの活用を想定したデータ伝送機能による情報の伝達や遠隔操作を行うシステムの検討、データ通信を有効活用するための効率的な周波数利用についての検討などを進め、最終会合となる本会合で取りまとめました。

北陸総合通信局では、取りまとめられた成果を活用して、引き続きデジタル簡易無線の普及促進に努めて参ります。

○報告書の構成（報告書は後日、掲示します。）

- ・ デジタル簡易無線の現状と課題
- ・ デジタル簡易無線を利用したデータ通信
- ・ デジタル簡易無線の高度利用と普及のための方策
- ・ データ通信専用チャネルの必要性
- ・ まとめ



連絡先：無線通信部企画調整課
（担当：坪倉、山口）
電話：076-233-4470